



テーマは「金融と経済」に関すること。高校生としての自分の意見や主張を小論文スタイルで表現してください。テーマを考える参考として、テーマの例を下記に示します。ただし、この中から選ぶ必要はありません。自分が書きたいと思う内容を、自由に考えてみてください。

題名(作品タイトル)は自由です。作品の内容に相応しいものをつけてください。

- 持続可能社会の実現に向けて 高校生の私が考える「社会のためになる投資」
- 将来の夢実現 高校生の私が考える「活きたお金の使い方」
- キャッシュレス社会を生きる 「見えないお金」の便利さと怖さについて考える
- 私が社長になったなら 高校生の私が考える地域を元気にするビジネス
- オトナの自覚 社会に出る前に考えておきたい「お金」のこと
- 「未成年者取消権」喪失 高校生の私が考える悪質商法撃退策

■第21回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 募集要項

応募資格	高校生、中等教育学校生(後期課程)、高等専門学校生(3年生まで)、高等専修学校生
賞	<ul style="list-style-type: none"> ■特選 5編(賞状と奨学金5万円) 金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/全国公民科・社会科教育研究会会長賞/金融広報中央委員会会長賞 ■秀作 5編(賞状と奨学金3万円) ■佳作 10編(賞状と図書カード6千円分) ■学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)
締め切り	2023年9月15日(金)※消印有効
発表	12月中旬頃、金融広報中央委員会ホームページ(https://www.shiruporuto.jp/)などで発表。
応募方法	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>郵送応募</p> </div> <p>〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス 金融広報中央委員会コンクール事務局「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール係</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-right: 10px; margin-top: 10px;"> <p>WEB応募</p> </div> <p>下記アドレスに接続し、画面の指示に従って応募フォームにより送信してください。 https://www.ron2023.jp/</p>
問い合わせ先	<p>金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL.03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時~17時)</p> <p>金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ https://www.ron2023.jp/</p>



小論文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えていただきたいこと

平成30年告示の学習指導要領では、論理的な文章を書く資質・能力の育成について、充実が図られました。その中で、社会的な話題や自己の将来などを題材に、自分の思いや考えについて、文章の種類を選んで書く活動(自己を表現する力の向上を目的とした活動)として、小論文が挙げられています。金融・経済に関する諸課題や働くことの意味などについて、高校生が自分の事として捉え、事実関係やデータを調べて、考えたことを小論文にまとめる作業は、論理的思考力や表現力の向上にも繋がります。生徒には、自分の立場や論点を明確にして、考えを論じるよう指導してください。また、調べた事実やデータの妥当性・信頼性を吟味し、主張を支える適切な根拠を揃えるよう助言してください。なお、学校単位で応募いただく場合、作品の確認・添削は必要ございません。生徒が書かれた作品はすべてお送りください。



小論文の書き方(参考)

- 小論文を書くにあたって、上記のテーマ例を参考に自分が関心があるものや書きたいことを考えます。小論文の題名(タイトル)は、自由につけてください。
- 決めたテーマについて、自分の意見・主張を明確にします。
- 説得力を高めるため、理由・根拠となる客観的な事実やデータを調べてください。
- 最後に、構成(序論・本論・結論)を決めて、書き始めます。
- 事実やデータは自分の意見・主張と混ざらないように区別して書いてください。



第20回金融教育に関する実践報告コンクールも募集中!

~学校での実践や計画、これまでの経験に基づく提言をお寄せください!~
詳しくは<https://www.ron2023.jp/>から教員部門をご覧ください。

自分の将来のために、いま考えよう！

次代を担う高校生にとって、金融や経済について考えることは、これから社会とどう関わって生きていくのかにつながる大きなテーマです。同世代の仲間の考えを聞き、自らの思いを語り、将来の姿を描いてしっかり歩んでいきたいですね。金融広報中央委員会は、高校生の皆さんに、「金融と経済を考える」小論文を募集します。昨年は、全国から2,255点の作品が寄せられ、20点が入賞作品に選ばれました。あなたも、自分の将来のために、金融や経済について、いま考えてみませんか。



受賞作品の紹介

過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。

https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours_ronbun/



金融担当大臣賞

紅茶から考える自分の将来
東京都 大妻中野高等学校 1年
佐々木 ことみさん

作品の内容 筆者は、紅茶のペットボトルのラベルに書かれていた熊本復興応援プロジェクトに興味を持ったことをきっかけに、寄付への取り組み方や自然災害の多い日本の現状について考えます。多額の寄付につながったプロジェクトのメリットや自然災害の原因について考える中で、将来は経済や金融について学び、困窮している人々を助けられるような仕事がしたいと結んでいます。「些細な事柄から視点を広げていき、自分の将来について真剣に向き合っている」と評価されました。

受賞者の声 寄付は気軽にできる行動であるけれども、遠く離れた人々への支援となります。この小論文を通して、簡単にできる行動から世界規模の問題に目を向けられるようになって気づきました。今後は経済についての知識を身につけ、様々な人の役に立ちたいです。

文部科学大臣賞

カレーと豆ごはん〜気持ちを循環させるお金と経済のあり方
愛媛県 愛媛県立松山東高等学校 1年
兼頭 玄さん

作品の内容 高校生になり、街で一人暮らしを始めた筆者は、「助け」をお金で買えることに物足りなさを感じていましたが、大人が学生の食生活を支える活動をしているカレー店を知り、都会にも「お互い様」文化があることに気づきます。生まれ育った島には古くから支えあう仕組みがあったことに思いをはせ、志を実現したい人が当たり前支援を受けられる仕組みを構想します。「目指す社会に向けた明確な意思があり、具体的な制度設計にまで言及している」と評価されました。

受賞者の声 故郷弓削島の支え合いの体験から描いた未来像がたくさんの人に伝わり、同世代の仲間と社会のことについて話し合えたことが嬉しい。仲間の輪をあげ、貧困や環境問題などの社会課題に協力して取り組み、支え合いの中でお互いの幸せを実現する社会を創りたい。

日本銀行総裁賞

日本の子供たちの相対的貧困
東京都 東京都立国際高等学校 2年
横山 雅楽さん

作品の内容 筆者は、日本のひとり親世帯の貧困率が高いことを示し、相対的貧困による子供たちへの精神的なダメージや、貧困の連鎖について問題を提起します。貧困率の引き下げに成功したイギリスの取り組みと日本の政策の方向性の違いを踏まえ、相対的貧困の解決には子供たち本人に対する給付金などの支援が必要不可欠だと結論づけます。「海外の事例も含めてよく調べていて、深い視点で日本の政策を論じており、主張が明快である」と評価されました。

受賞者の声 日本の相対的貧困者数の多さやイギリスが日本と同じ状況から改善したこと、そのための政策をこの小論文を書く中で知ることができました。この現状を知っている日本人を増やし、イギリスなどの前例にならって適切な対策を考えることが大切だと思いました。

全国公民科・社会科教育研究会会長賞

生理的貧困と考え方
東京都 東京都立国際高等学校 2年
野村 美妃さん

作品の内容 筆者は、高校に生理用品が配られたことをきっかけに、生理的貧困や女性のおかれている状況に気づきます。生理用品に関する世界の取り組みを調べ、女性に対する差別、日本における性へのタブー視など、様々な問題について考えをめぐらせ、状況を変えるために今できることは自分の考え方を考えることだと結びます。「経済問題としての貧困、人権問題としての性に対する問題を受け止めており、考察を深めるプロセスが明晰」と評価されました。

受賞者の声 今回私はニュースになっていた話題から自分の身近なものにつなげるという形で経済のことを考えてみました。生理的貧困に関して自分にできることは多くないけれど、今回の気づきを大事にして、これからも考えることを続けていきたいです。

金融広報中央委員会会長賞

シングルマザーとフードパントリー
東京都 東京都立武蔵丘高等学校 3年
カーン ビスマさん

作品の内容 筆者は、飲食店でのアルバイト経験を通じフードロスを問題視し、フードパントリーに興味を持ちます。そこでのボランティア体験により、助け合いの精神が根付いていると感じますが、利用者が増加する中で取引量が減少していることをデータで示し、ひとり親世帯、シングルマザーにとって、ライフラインの役割を担うフードパントリーを増やすべきだと指摘します。「数字を具体的に示し分析しており、現場で聞いた声に実感がこもっている」と評価されました。

受賞者の声 フードバンクを活用すること、団体数を増やしていくことで受け取る利用者はもちろん、社会全体にも良い影響を及ぼすことを学びました。身近にあるのに知らなかったという声を減らすために他にも私たちができることは何かを考えていきたいです。

秀作

父の金融教育
岡山県 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 4年
森岡 夏海さん

私が店主になったら
香川県 香川県立観音寺第一高等学校 1年
藤村 春陽さん

世界自然遺産となったシマ
鹿児島県 鹿児島第一高等学校 1年
南 結衣さん

「ダークツーリズム」が与える影響とは
東京都 東京都立国際高等学校 2年
佐藤 環さん

家族の背中から見た経済
宮崎県 宮崎県立日南振徳高等学校 3年
河上 愛さん

学校賞

東京都 大妻中野高等学校
東京都 東京都立国際高等学校
東京都 東京都立武蔵丘高等学校
愛媛県 愛媛県立松山東高等学校

前回 審査員 (敬称略)

松島 斉(東京大学大学院教授) 山田 真哉(公認会計士・税理士) 大山 敏(全国公民科・社会科教育研究会会長)
阿部 睦子(全国家庭科教育協会理事長) 渡邊 裕美子(金融庁総合政策局総合政策課課長補佐) 藤野 敦(文部科学省初等中等教育局視学官)
上口 洋司(日本銀行情報サービス局長) 武井 敏一(金融広報中央委員会会長)

金融広報中央委員会とは？

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、国民に対し中立・公正な立場から「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」を行っている団体です。

応募の注意点

●文字数について **空白を含む1,600～3,200字** (作品タイトル・学校名・学年・氏名・参考文献・出典は含みません)

 原稿用紙で 書くなら	400字詰め原稿用紙 ※タテ20字×ヨコ20行 5枚目3行目以上記入	 パソコン原稿で 書くなら	1行20字詰め ※1枚につき30行以内
---	---	---	-------------------------------

◎作品募集ホームページ(<https://www.ron2023.jp/>)にある応募用原稿用紙をご利用になることもできます。

●応募について

個人で応募する場合	・下記応募用紙に記入してください(応募用紙はコピー可)。 ・作品タイトル、氏名(ふりがな)、学校名(ふりがな)、学年、学校および自宅の住所、電話番号、FAX番号を記入して作品に添付してください(応募用紙は必ず本人が記入してください)。
学校単位で応募する場合	・学校宛てにお送りしています 学校専用応募用紙 にてご応募ください(学校専用応募用紙はホームページ< https://www.ron2023.jp/ >からダウンロードすることもできます)。 ・下記応募用紙(個人用)は不要です。

◎応募は未発表の作品に限ります(インターネット上での作品公開も発表とみなします)。また、二重投稿はご遠慮ください。 ◎日本語に限ります。 ◎作品は理由を問わず返却しません。
 ◎入賞作品の著作権・版権は主催者に帰属します。 ◎佳作の作品は公表しません。
 ◎作品公表の際には個別企業名や商品名に関する表記を変更させていただくことがありますので、予めご了承ください。

小論文を書くにあたってのご注意

- ・本文冒頭1行目に作品タイトル、2行目に学校名、学年、氏名を記入してください。本文は3行目から始めてください。
- ・学校名が長い場合、本文は4行目(学年、氏名を記入した次の行)から記入してください。
- ・規定文字数に達しない作品は審査の対象となりません。
※原稿用紙によらないパソコン原稿の場合も同様です。
- ・各ページにページ番号を記載し、右肩をホチキスで留めてください。
- ・ご応募いただいた作品が「盗用」であると認められた場合、審査の対象外となります。また、後日判明した場合は、入賞の取り消しをさせていただきます。

参考文献の明記

- ・参考にした文献(書籍、インターネット等)はすべて、小論文の最終ページに必ず記入してください。記入せずに他の人の文章を使用することは「盗用」とみなされてしまうことがあります。

引用するときの注意点

- ・他の人の文章は、なるべく使用しないようにしましょう。
- ・どうしても使用したいときには、引用する文章は変更せず、かぎ括弧をつけて自分の文章と明確に区別したうえで、小論文の最終ページに必ず出典を記載してください。
- ・かぎ括弧や出典の記載をせずに、インターネット等で入手した他の人の文章を書き写して小論文を作成することは「盗用」とみなされてしまうことがありますので、注意しましょう。

※応募の際は、下記個人情報の取り扱いについて保護者の方にもご確認いただいたうえでご応募ください。

個人情報の取り扱いについて ●応募者の個人情報は、入賞作品の選考、入賞者への連絡のためにのみ使用し、主催者および当コンクール業務受託先が責任をもって管理します。●応募者本人または保護者の許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。ただし、法律や法的拘束力のある命令等に基づいて開示が要求された場合には、その要求に応じることがあります。●入賞者の氏名・学校名・学年および作品の一部は、金融広報中央委員会ホームページ等にて公表させていただきますので、予めご了承ください。

出典例 『出典』() 行目、金融広報中央委員会『きみはリッチ?』多重債務に陥らないために() 行目、二〇二〇年二月、六ページ… カードのはなし() 行目、金融広報中央委員会『金融用語解説』() 行目、二〇二〇年七月十九日
--

(出典の記入例)

参考文献・出典の記入方法 書籍の場合 ○枚目○行目(応募作品中該当箇所、著者名、書籍名、出版社名、出版年、参照または引用したページ、インターネットの場合) ○枚目○行目(応募作品中該当箇所、著者名、タイトル、URL、閲覧日)	最終ページ 作品タイトル 〇1行目 〇2行目 学校名 学年 氏名 〇3行目 本文
---	--

(記入例)



キリトリ

第21回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 応募用紙(個人用)

作品タイトル		
ふりがな 氏名	ふりがな 学校名	学年
立		学校
年		
学校住所 (〒 -) 都道府県 市区郡		
学校電話番号 () -	学校FAX番号 () -	
※マンション、アパート名等も必ずご記入ください。		
自宅住所 (〒 -) 都道府県 市区郡		
電話番号(日中連絡の取れる先) () -	FAX番号 () -	

下記のアンケートにご協力ください。

◎このコンクールはどちらで知りましたか。番号を○で囲んでください。(複数回答可)

1.ポスター 2.チラシ 3.新聞や雑誌(媒体名) 4.ホームページ 5.知人から 6.学校 7.その他 ()

※応募者の個人情報は当コンクール以外の用途には使用しません。